

患者の皆様へ

2026年3月2日
遺伝子診療部

現在、遺伝子診療部では、「単一遺伝子疾患の患者に対するゲノム・遺伝子解析研究を目的とした検体の保存・利活用の体制構築（遺伝子診療部）」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当院にて2026年4月から現在までの間に腫瘍の診療を受けた方の腫瘍に関するゲノム・遺伝子情報、診療情報などを利用させていただいております。この研究で、試料・情報が何のために、どのように使われているのか詳しく知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「単一遺伝子疾患の患者に対するゲノム・遺伝子解析研究を目的とした検体の保存・利活用の体制構築（遺伝子診療部）」

2. 研究の意義・目的

単一遺伝子疾患のゲノム・遺伝子解析研究を目的とした研究であり、今後の診断、治療の開発に貢献することを期待しています。

3. 研究の方法

○対象となる患者さん

当院遺伝子診療部にて2026年4月から現在までの間に単一遺伝子疾患の疑いの診断を受け、本研究計画に同意をいただいた方。または当時未成年で、代諾者による同意をいただいた方。

○利用する検体・情報

- ・保存されている組織検体、血液検体、唾液、毛髪、尿およびそれらから抽出したゲノムDNA、RNA、タンパクなど
- ・既に解析したゲノム・遺伝子に関する情報
- ・背景：年齢、性別、日常生活を問題なく送れているか、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴

- ・ 現病歴
- ・ 治療内容、治療歴、有効性、すべての有害事象
- ・ 診療目的で行なわれた各種検査データ結果（血液、病理を含む）

5. 外部への検体・情報の提供

今後の研究計画（当院の倫理審査委員会の審議による承認されることが条件）によっては検体・情報が海外を含めた外部施設に提供される可能性があります。

6. 研究組織

研究責任者：遺伝子診療部 尾内 善広

7. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部の鍵のかかる保管庫で保管します。

8. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

研究に検体・情報を利用して欲しくない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院遺伝子診療部

医師 尾内 善広

043（222）7171 内線 6220

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。